

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団 2020 年度奨学生(大学推薦)の募集

2019. 10. 28

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること。

- 1) 博士後期課程に在籍しており、2020 年 4 月現在で在籍残期間が 1 年以上ある私費外国人留学生(在留資格「留学」)。
- 2) 2020 年度 4 月以降、他奨学金を受給しない者。
- 3) 医学又は薬学に関連する分野を研究している者。
- 4) 2020 年 4 月 1 日現在で満 38 歳以下の者。
- 5) 日本語を学ぶ意欲のある者。
- 6) 奨学期間中に 40 日以上日本を離れることのない者。
- 7) 標準年限内での修了が見込める者。
- 8) 2020 年 2 月(予定)に東京または大阪で行う面接に出席できるもの。(日本語または英語)

※ 過去に大学推薦または直接応募で応募し不合格になったものは推薦対象外とする。(直接応募にて応募すること)

2 支給額: 年額 200 万円、150 万円又は 100 万円 (財団選考委員会による評価に応じて決定。)

3 推薦人数: 1 名

4 提出書類 (大学で一括応募するため、WEB提出は不要です。)

- 1) 奨学生応募チェックリスト (氏名、生年月日を記入。受付番号、チェック欄の記入は不要)
- 2) 奨学生願書(所定用紙、日本語自筆、片面印刷、写真貼付、募集要項内 Q&A をよく読み記入すること)

※ 「⑤外国人留学生担当部署」は記入不要です。

- 3) 推薦状 (所定用紙、PC 作成可、厳封)
- 4) 論文のコピー(出版済みの論文がある場合のみ、両面コピー)
- 5) 在学証明書 (原本、募集開始日以降に発行されたもの)
- 6) 住民票の写し (原本、募集開始日以降に発行されたもの)
- 7) 成績証明書 (学部以降直近のものまで)
- 8) 私費外国人留学生身上書 (所定用紙)
- 9) 家計状況申告書(所定用紙)

※ 8)および 9)は、2019 年 10 月以降に他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

5 申請書類提出先: 工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日: 2019 年 11 月 12 日(火)

2020年度募集要項(大学推薦)

奨学金制度の概要

1)奨学金給付額

年額200万円、150万円又は100万円(当財団選考委員会による評価に応じて決定。他奨学金との併給不可)

※学業成績が不良のとき、また法律を犯す行為だけでなく、倫理・道徳観念上、学生として不適切な行為があった場合は、給付額減額または給付停止となることがあります。

2)奨学期間

1年間(2020年4月～2021年3月)

※奨学期間中、所属大学に在学していることが条件です。なお、奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます(奨学期間は最長3年間まで)。

3)申請者の区分

1. 新規申請者：当財団から奨学金の給付を受けたことのない者
2. 継続申請者：当財団から過去に大学推薦により奨学金を給付された者
※ただし、継続申請は2019年に成果・進展のあった者に限り認めます。
※過去に応募した際の願書を書き写した者は不採用とします。

4)給付停止の要件

1. 退学したとき
2. 奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したとき
3. 奨学生が原級にとどまったとき、又は卒業延期の恐れが生じたとき
4. けが、病気などのため成業の見込みがなくなったとき
5. 学業成績又は性行が不良となったとき
6. 奨学金を必要としない理由が生じたとき
7. 上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき
8. 在学で処分を受け、学籍を失ったとき
9. その他奨学生としての資格を失ったとき

推薦対象者の資格

- (1) 2020年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生(在留資格が「留学」の者に限る)
- (2) 当財団が指定する大学院の正規課程に在学する医歯薬学、経営学(経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む)及び工学を研究する者(ただし、医歯薬学・工学については博士後期課程に在籍者に限る。また工学は人間工医学・生体材料工学、生命情報学・計算科学及び創薬等、医学・薬学に関連の深い分野の研究をしている者に限る)
※医学・薬学との関連(学会発表、論文などの実績を含む)が願書に明記されていない場合は選考対象外
- (3) 過去に大学推薦または直接応募で当財団に応募し不合格になったことがない者
- (4) これまで直接応募で当財団の奨学生として採用されたことがない者
- (5) 向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者
- (6) 独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者
- (7) 財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者
- (8) 奨学期間中に合計40日以上日本を離れない者
- (9) 国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者
- (10) 学資の支弁が困難と認められる者
- (11) 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる者
- (12) 日本語を学ぶ意欲のある者
※英語で書かれた願書も受け付けますが、願書及び面接において日本語への意欲が見られない場合は減点します。
- (13) 上記(1)～(12)の資格及びその他当財団の定める条件を満たす者
※標準修業年限内での修了が見込めない者は推薦不可

応募方法

申請サポートシステムを導入しています。「Web提出」と「原本の郵送」の両方の手続きが必須です。

1)応募方法 ※詳細は別紙「申請の流れ」をご覧ください。

WEB登録は不要(原本のみ提出)

1. <https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/>より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、PDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください。指定されていない書類(論文など)はアップロードしないこと。
※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。
※Web提出する願書にも必ず写真を貼付すること
※願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)
※入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。
Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。
2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5箇所(「申請の流れ」参照)に記入の上、応募書類をまとめて大学の担当者に提出してください。
3. 大学のご担当者は下記の応募書類を取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。
※Web提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は選考対象外となります。
※提出された書類は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。
※応募書類は返却しません。
※必ず大学を通じて応募してください。応募者本人からの直接の問い合わせ・応募は受け付けません。

【送付先】 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27 大塚グループ大阪本社ビル
公益財団法人大塚敏英育英奨学財団 事務局

2)応募書類

1. 該当の奨学生願書(A4サイズで片面印刷した当財団指定用紙を使用し、ホチキス留めはしないこと)
※推薦状以外の書類はすべて応募者本人が日本語または英語で手書きすること(消せるペンは使用不可)
なお、英語で書かれた願書も受け付けますが、日本語訳の添付が必須です(日本語訳の不備は選考対象外)。詳細はQ&Aを参照してください。
※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。抱負や研究内容に変更がなかったとしても、必ず新たな表現で書き起こすこと
※指導教員、大学担当者の適切なチェックを経ていないと思われる応募書類(願書の内容及び日本語訳を含む)を提出した者は選考対象外とします。
2. 推薦状(推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。推薦状が英語の場合、日本語訳の添付が必須です)
※同じ指導教員から2人以上推薦される場合は、推薦状に「推薦順位とその理由書」を添付して密封してください。
3. 写真1枚(4.5×3.5cm、カラー、上半身正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと)
4. 成績証明書(履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付すること。成績が出ない旨の証明書は不可)
※成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること
5. 在学証明書(日本語で書かれた募集開始日以降のもの。コピー不可)
6. 住民票の写し(募集開始日以降のもの。コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可)
7. 奨学生願書及び成績証明書のコピー6セット
※「1. 奨学生願書」及び「4. 成績証明書」をA4サイズで片面コピー(写真貼付の願書1枚目のみカラー)したものを1セットとして、6セット同封すること。なお、ホチキス留めはしないこと。
8. 論文のコピー6セット(該当者のみ)
※出版済みの論文がある場合はそのコピーも6セット同封すること(両面コピーでホチキス留めすること)。

3)締切日

Web提出：2019年11月29日(金)17時

郵 送：2019年12月2日(月)15時(事務局必着)

選考、採用及び奨学金の給付について

1)選考

選考は書類選考と面接によって行い、採用は選考委員会を経て理事会で決定します。

なお、面接は大阪または東京で2020年2月中に行います(予定)。

2)採用

4月末日までに採否を大学に通知します。

採用された場合、当財団指定の「確認書」の提出及び2020年8月28日(金)、29日(土)に開催する当財団認定式への出席が必須となります。

3)奨学金の給付時期

原則として年間給付額を2回に分けて、9月(認定式終了後)、12月の一定日に本人名義の口座に直接振り込みます。

※2020年度の前期分は9月中旬の給付となります。

特 徴

この奨学金の特徴は次の通り

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

奨学生の義務

奨学生は以下に定める義務を履行する必要があります。

- (1) 奨学生は、募集要項に規定された内容を遵守し、資格条件に抵触することがあれば速やかに届け出ること
- (2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を代表理事に届け出ること
 1. 休学、復学、転学又は退学したとき
 2. 停学その他の処分を受けたとき
 3. 氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき
 4. 留年又は卒業延期の恐れが生じたとき
- (3) 下記の書類を代表理事に提出すること
 1. 在学証明書及び生活状況報告書
 2. 成績証明書
- (4) 当財団主催の行事に参加すること
- (5) 奨学期間終了後も定期的に当財団に近況を報告し、卒業生のネットワークに参加すること

推薦対象者の資格に関するQ & A

Q	国籍の制限はありますか？
A	国籍の制限はありません(ただし、日本国籍を有する者を除く)。
Q	年齢制限はありますか？
A	2020年4月1日時点で満38歳以下の人が対象です。
Q	在留資格が「留学」以外の学生も推薦できますか？
A	推薦できません。
Q	研究生も推薦できますか？
A	研究生は推薦できません。非正規留学生は対象外です。
Q	過去に直接応募で採用されたことがある人や応募したことがある人は、推薦できますか？
A	過去に直接応募で応募したことがある人は合否にかかわらず推薦できません。4月から募集を開始する「直接応募」で応募してください。
Q	経営学専攻でなければ推薦できませんか？
A	経営学に関連していれば経済学など幅広い分野が対象となります。また、経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含まれます。
Q	工学系の研究科に在学している人は推薦できますか？
A	推薦できますが、「医学・薬学に関連の深い工学分野」を研究している人に限ります。例えば、検査・分析機器の開発、生体材料工学、光学機器開発、放射線(治療・診断)、ロボット工学などの人間医工学及び医薬生物・ゲノム統計解析などの生命情報学・計算科学、創薬に関わる研究などが対象です。願書に医学・薬学にどう関連するか、どう応用できるかを必ず明記してください。関連が不明確な場合は選考対象外となります。
Q	他奨学金を受給している人は推薦できますか？
A	奨学期間にかかる奨学金の受給が決定している人は推薦できません。

Q	来日前の2020年4月入学確定者は推薦できますか？
A	推薦できません。願書とともに在学証明書、住民票の提出が必須のため、推薦時点で日本にいる人が対象です。
Q	2020年4月入学確定者は推薦できますか？
A	推薦できますが、原則として2020年4月に同大学で学部→修士(経営学のみ)、又は修士→博士に進学する人及び研究生から正規課程に入学する人に限ります。ただし、4月からの指導教員が被推薦者と面談を重ねているなど、十分な認識をもって推薦状を書ける場合のみ推薦対象となります。必ず入学を証明する書類のコピーを添付してください。
Q	2020年秋に卒業する人は推薦できますか？
A	推薦できません。給付期間(2020年4月から2021年3月まで)に在学している人のみが対象です。
Q	長期履修生や標準修業年限を越えている人は推薦できますか？
A	長期履修生や標準修業年限を越えている人(オーバードクターを含む)、標準修業年限内での修了が見込めない人は推薦できません。採用されてから卒業延期となった場合は採用が取り消されます。
Q	交換留学をする予定がある人は推薦できますか？
A	交換留学、帰省、旅行等で給付期間中に合計40日以上日本を離れる(生活のベースが日本にない状態)予定がある人は推薦できません。

提出書類に関するQ & A

Q	奨学生願書はどのように入手できますか？
A	願書は郵送したものをコピーするか、大学担当者にメールで添付したものをプリントアウトして使用してください。当財団ホームページからはダウンロードできません。 新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください(工学は医薬系の願書を使用すること)。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。

Q 願書は手書きでなくても応募できますか？

A 応募者本人が手書きで記入してください。タイプした願書や代筆が含まれたもの、消せるペンで記入したものは選考対象外です。

Q 在籍機関については、いつ時点の情報を記入すればいいですか？

A 在籍機関・学年他、学業・生活面の各項目については、申請時点の状況を正確に記入してください。ただし、2020年4月に進学が決定している人のみ、在籍機関・学年等は2020年4月時点について記入してください。

Q 奨学生願書及び成績証明書のコピー、論文のコピーはどのようにして提出すればいいですか？

A 奨学生願書及び成績証明書はA4サイズで片面コピー（写真貼付の願書1枚目のみカラー）したものを1セットとして、6セット同封してください。英語で願書を記入した場合は日本語訳も6セットコピーし、添付してください。チェックリスト、在学証明書及び住民票並びに推薦状のコピーは不要です。なお、ホチキス留めはしないでください。出版済みの論文がある人は、両面コピーしてホチキス留めたものを6セット同封してください。

Q 奨学生願書④「学歴・職歴」はどのように記入すればいいですか？

A 母国の最終学歴から現在までの経歴（日本語学校や研究生等含む）を、上から順に時系列で空白期間がないように記入してください。職歴がある場合は具体的に記入してください。

記入例)

2009	9	～	2013	7	〇〇大学 △△学部 ××学科 (中国〇〇省△△市)
2013	9	～	2014	8	株式会社〇〇〇 研究開発職 (中国〇〇省△△市)
2014	9	～	2016	8	☆☆☆日本語学校(東京)
2016	10	～	2017	3	〇〇大学大学院 △△研究科 研究生
2017	4	～	2019	3	〇〇大学大学院 △△研究科 博士前期課程
2019	4	～			〇〇大学大学院 △△研究科 博士後期課程

Q 入学したばかりで、在籍する大学院の成績証明書がありません。その場合、大学の時の成績証明書で応募できますか？

A 卒業した大学の成績証明書で応募できます。

Q 成績証明書は原本でなく、コピーでもいいですか？

A コピーで応募できます。

Q 母国語で書かれた成績証明書で応募できますか？

A 日本語又は英語表記の成績証明書の取得が困難な場合は、母国語で書かれた成績証明書で応募できます。なお、募集要項に記載の通り、履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のある直近の年のものを提出してください（合格、不合格の評価のみのものは不可）。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも必ず添付してください。

Q 12月2日(月)の締切は消印日ですか、到着日ですか？

A 12月2日(月)15時事務局必着です。郵送以外は受け付けません。なお、当財団ホームページの申請サポートシステムからのWeb提出期限は11月29日(金)17時です。必ずWeb提出後に応募書類を郵送してください。

Q 英語で書いた願書は受け付けていますか？

A 受け付けますが、英語で記入された部分は固有名詞も含めすべて日本語訳の添付が必須です。その場合も、願書への英語での記入は必ず応募者本人が手書きで行ってください。なお、日本語で記入できる部分は日本語で記入してください。日本語訳は手書きである必要はありませんが、「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と来年の研究計画)」「過去1年の成果及び活動」については必ず日本語訳の字数を明記し、字数制限を守ってください(様式は問いません)。不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、注意してください。

Q & A

Q	英語で記入する際、願書のマス目のある「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と来年の研究計画)」「過去1年の成果及び活動」はどのように記入したらいいですか？
A	マス目を無視して記入してください。英語の字数については問いませんが、日本語訳については必ず字数制限を守り、 <u>字数を明記してください</u> (様式は問いません)。
Q	「過去1年の成果」が特にない場合はどうしたらいいですか？
A	学会発表・論文投稿だけでなく、学業面の成果や社会貢献活動等を含めて、1年間の成果及び進展について記入してください。成果及び進展が乏しい場合は応募できません。
Q	「他奨学金・研究助成金の併願状況」の受給状況について、1回のみ支給される場合などはどのように記入すればいいですか？
A	Web入力時は「年額」を選択して給付の総額を入力してください。願書には、空いているスペースに「1回のみ」など、内容がわかるように記入してください。 その他の項目についても説明が必要な場合は、願書の空いているスペースに内容を記入し、目印として付せんをつけてください。

日本語能力に関するQ & A

Q	日本語のレベルに関わらず応募できますか？
A	応募できます。ただし、在日期间に比しての日本語能力は、可否に影響を及ぼす可能性があります。また、面接で日本語を一言も話さないなど、日本語に対する消極的な態度は評価にマイナスとなります。
Q	英語で面接を受けることはできますか？
A	原則、面接は日本語ですが、在日期间が短い人は英語での面接も可能です。 ただし、日本語で願書を提出した場合は、日本語での面接になります。英語での面接は認めませんので、 <u>必ず応募者が使用可能な言語で願書を記入してください</u> 。 英語で面接を受ける場合も、簡単な自己紹介など日本語で話す努力をした場合はその姿勢を評価します。

その他のQ & A

Q	申請サポートシステムでの基本情報入力やWeb提出は誰が行いますか？
A	原則として応募者本人が行ってください。申請サポートシステム内の情報は日本語と英語が併記されています。大学のご担当者などにサポートしていただいてもかまいません。
Q	ID、パスワードの初回入力 留学生も受付番号がわからないのですが？ <u>ひーちん</u>
A	受付番号はWeb提出完了時に発行されます。 <u>4行目</u>
Q	Web提出したら、応募手続きは完了ですか？
A	まだ応募手続きは完了していません。各申請書類の指定の5箇所(「申請の流れ」参照)に受付番号を記入し、応募書類をすべて揃えて、大学の担当者に提出してください。(大学のご担当者は、応募書類をお取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。)
Q	アルバイトなどの収入は可否に影響ありますか？
A	TAやRA、アルバイトなどの収入や研究助成金の受給は可否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、収支が合わないなど願書からどのように学費や生活費を賄っているか読み取れない場合、又は合理的な説明がなされていない場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。
Q	面接はいつ、どこでありますか？
A	2020年2月中に大阪または東京で行います(予定)。こちらで指定した日時に会場へお越しください。
Q	面接の連絡はいつ来ますか？
A	1月末までにメールで大学の担当者に連絡します。
Q	継続申請の場合も新規申請と同じように応募書類をすべて揃えて提出しなくてはいいませんか？
A	継続申請の場合も新規で応募した時と同様に、すべての応募書類を揃えて事務局宛に提出してください。

掲載のQ & A以外のご質問は、事務局までお問い合わせください。

財団の概要

設立年月日

2007年3月6日 「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 設立
2012年4月1日 「公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 移行登記

設立の趣旨

わが国においては、近年少子高齢化が著しく今後更にこの傾向が加速するものと思われ、若年の有能な人材の育成が強く望まれております。一方、わが国と経済、教育及び文化において深く結びついているアジア・アラブ・アフリカ地域等の開発途上国においては、若年層人口は増加傾向にあるものの、わが国等の先進国における大学等の高等教育機関で学び研究するものは限られ、また留学中の経済的基盤は不十分な状況にあると思われまます。

このようなわが国と開発途上国の置かれている状況と今後の互恵の益々の発展が必要な現状に鑑み、アジア・アラブ・アフリカ地域等から、わが国の大学及び大学院に留学し、医学、薬学、栄養学、体育学及び経営学を専攻する留学生に対し、奨学助成することは有意義であるものと考え、2007年に財団法人大塚敏美育英奨学財団を設立致しました。

出捐者・大塚敏美プロフィール

当財団は大塚グループ創業者一族の大塚敏美から私財の提供を受けて設立されました。

大塚敏美は1922年12月24日に徳島県鳴門市で生まれ、昼夜を問わず懸命に働く両親の下で、幸せな子供時代を過ごしました。1950年に父・武三郎が設立した大塚製薬工場に入社してからは、会社の事務はもちろん、社員寮の世話に至るまで責任を持って働く一方、日常生活では日々質素倹約し、節制に努めていました。晩年になり、何か世の中のお役に立てることがしたいと、長年に亘って蓄えた私財の提供を申し出ました。こうして2007年、大塚グループの発展を長年に亘りご支援いただいた海外地域からの留学生に対して奨学金を給付し、将来を担う人材の育成に寄与するという目的で、「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」が設立されました。

財団法人の理事に就任してからは、毎年の奨学生認定式で長年の人生経験を通じて、「学ぶことのすばらしさ」「困難を乗り越えることの大切さ」を奨学生に語りかけてきました。礼儀正しく謙虚な人柄で、誠実さを貫き、2011年5月3日、清らかな88歳の生涯を全ういたしました。

大塚敏美の思いは現在も当財団の事業の中に生き続けています。

目 的

日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対しての奨学援護を行い、もってわが国と世界の国々との国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、わが国と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与することを目的としています。

事 業

1. 日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対する奨学金の給付
2. 奨学金の給付を受ける留学生に対する生活指導及び助言
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

Scholarship Program Overview

1) Amount of scholarship

Annual sum of ¥2.0 million, ¥1.5 million or ¥1.0 million, determined on the basis of evaluations by our selection committee. Recipients must not be receiving any other scholarships.

Note: A scholarship recipient's failure to make satisfactory academic progress or any unethical or immoral behavior or illegal act by the recipient may result in a reduction or withdrawal of his/her scholarship.

2) Period covered by scholarship

One year: From April 2020 to March 2021

- * Recipients must be enrolled in their university for the entire period covered by the scholarship. Recipients may apply for a renewal of their scholarship for up to two times, for a total scholarship period of three years.

3) Applicant categories

1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation
2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation by university recommendation
 - * We accept only those who had enough achievements and advancements over the past one year.
 - * Copying of the past application materials will cause you to be disqualified.

4) Grounds for withdrawal of scholarship support

- (1) The scholarship recipient withdraws from school.
- (2) The recipient takes a leave of absence from school or does not attend classes for an extended period.
- (3) The recipient fails to advance toward his or her degree or is at risk of failing to meet graduation requirements.
- (4) The recipient is not expected to graduate due to injury or illness.
- (5) The recipient fails to make satisfactory academic progress or engages in unethical behavior.
- (6) Circumstances render the scholarship unnecessary.
- (7) Circumstances other than the above arise that disqualify the recipient.
- (8) The recipient is expelled from school for disciplinary reasons.
- (9) The recipient otherwise ceases to meet scholarship criteria.

Eligibility for Recommendation

- (1) Applicants must be self-supporting international students residing in Japan with "college student" status and must be 38 years old or younger as of April 1, 2020.
- (2) Applicants must be enrolled in an official degree program at a graduate school designated by the Otsuka Toshimi Scholarship Foundation and pursuing studies in medicine/dentistry/pharmacology, business administration (for students from developing countries where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable), or engineering (for medicine/dentistry/pharmacology and engineering, must be a doctoral program; for engineering, must also be a field directly relating to medicine/pharmacology, such as human medical engineering, biomaterials engineering, bioinformatics, computational sciences, or drug discovery).
 - * Applicants will be disqualified unless the relationship with medicine/pharmacology (including conference presentations, research papers, and other achievements) is clearly stated in the Scholarship Application Form.

- (3) Applicants must not have applied unsuccessfully to the Foundation in the past, either by direct application or university recommendation.
- (4) Applicants must not have previously been selected by the Foundation as a scholarship recipient through direct application.
- (5) Applicants must be highly motivated, possess an outstanding academic record, and demonstrate personal integrity.
- (6) Applicants must be involved in creative or innovative research.
- (7) Applicants must be able to have their supervising professor or other person provide appropriate guidance and pre-checking of the documents they submit to the Foundation (including application documents).
- (8) Applicants are not permitted to leave Japan for 40 or more days in total during the period covered by the scholarship.
- (9) Applicants must have an international perspective and demonstrate the ability to lead and serve as a bridge between Japan and other countries.
- (10) Applicants must demonstrate a need for financial aid.
- (11) Applicants must give full support and cooperation to events held by the Foundation and must contribute to building network between scholarship recipients.
- (12) Applicants must be motivated to study the Japanese language.
 - * The Scholarship Application Form may be completed in English, but selection points will be deducted if the Scholarship Application Form and interview reveal no motivation to study Japanese.
- (13) Applicants must meet the requirements specified in (1) to (12) above and other requirements stipulated by the Foundation.
 - * Those who are unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible for recommendation.

Applications

We have introduced an Application Support System. Applicants must complete online submission then mail the original documents to the Foundation.

1) How to apply *For more information, refer to the "Application Process" section.

1. Go to <https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/> and enter the Application Support System. Follow the instructions under "Application Process" to enter your basic information and submit your Scholarship Application Form (excluding letter of recommendation), academic transcript, and Japanese translation (only if you completed the application form in English) as PDF files. (Do not upload papers or other undesignated documents.)
 - * Lack of pages or necessary documents will cause you to be disqualified. (The page with photograph should be scanned in colors.)
 - * Be sure to attach a photograph to the Scholarship Application Form you submit online.
 - * Be sure to use a scanner to digitize your application form as a PDF file. (We do not accept PDFs created from photographs using smartphone applications and the like. Do not scan using horizontal [landscape] orientation.)
 - * You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form and the basic information you entered. (Special attention should be paid to the applicant's name and research title.)

You cannot cancel your online submission, so please be cautious when making online submission.
2. Write the reference number issued after online submission in the required five spaces (refer to the "Application Process" section) on your application documents, and submit the documents to the staff in charge at your university.
3. The university staff should collate the application documents shown below and send them to the Foundation Office by mail.

- * You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form you submitted online and the one sent to the Foundation by mail.
- * Documents submitted will not be used for any purpose other than the business of the Foundation.
- * The documents will not be returned to applicants.
- * Please be sure to apply through your university. The Foundation does not handle inquiries and applications directly from applicants.

[Address]

Otsuka Toshimi Scholarship Foundation Office
Otsuka Group Osaka Headquarters Building
3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka
540-0021, Japan

2) Application materials

1. Scholarship Application Form for your application category (Use the form designated by the Foundation, printed on a single side on A4 size paper. Please leave pages unstapled.)

- * All documents other than the letter of recommendation must be handwritten in Japanese or English by the applicant (do not use erasable pens). Applications completed in English must be accompanied by a Japanese translation (those submitted without complete and accurate Japanese translation will be disqualified). For more information, please see our Application FAQs.
- * Renewing applicants must not copy from a Scholarship Application Form submitted for a previous application.
You will be disqualified if you copy any material from a previous application. Even if there has been no change in your future aspirations and research subjects, you should re-write your application in new words.
- * Applicants submitting application documents (including the contents of the Scholarship Application Form and Japanese translations) that appear not to have been checked appropriately by their supervising professor or university staff member shall be disqualified.

2. Letter of recommendation duly signed by the recommender and placed in a sealed envelope for submission (letters written in English must be accompanied by a Japanese translation).

- * If a professor is to recommend two or more applicants, please rank the applicants and state the reasons behind, then enclose "the statement of reasons" (推薦順位とその理由書) in the same envelope with the letter of recommendation.

3. Color photograph: 4.5 cm x 3.5 cm photo showing the applicant facing forward from the waist up, taken no longer than six months ago (Paste the photo to the application form.)

4. Academic transcript: Most recent transcript, with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) Send a transcript current as of the most recent year for which level evaluations or grade evaluations were made. A statement of reasons for not having grades in the institution currently attended is not acceptable.

- * At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.

5. Student registration certificate (in Japanese) issued on or after the call for applications is made. Photocopies are not acceptable.

6. Certificate of residence: Official copy of full record issued on or after the call for applications is made. Photocopies, records that do not show "Nationality/Region" and "Status of Residence, etc.," and records that include an Individual Number (as nicknamed "My Number") are not acceptable.

7. Six sets of copies of your Scholarship Application Form and academic transcript

- * One set = a copy of the Scholarship Application Form (1 above) and the academic transcript (4 above), single-sided, on A4 size paper (use color copying for the page with your photograph attached). Enclose six of these sets. Leave them unstapled.

8. Six copies of your research papers (if applicable)

- * Enclose six collated copies (double-sided, stapled) of any research papers which you have published.

3) Application deadline

Online submissions: Friday, November 29, 2019, 5:00 p.m.

Submissions by mail: Must arrive at the Foundation Office no later than Monday, December 2, 2019, 3:00 p.m.

Screening Process, Selection, and Scholarship Payments

1) Screening process

The screening process involves reviewing the application documents and interviewing candidates. Scholarship recipients will be chosen by the Foundation's selection committee, with decisions finalized by the Board of Directors.

The interview portion of the process will be conducted in Osaka or Tokyo by the end of February, 2020 (tentative).

2) Selection

Outcomes of the selection will be communicated to universities by the end of April. Attendance at the certification ceremony planned on Friday, August 28 and Saturday, August 29, 2020, and submission of a Letter of Agreement are compulsory for official certification as a scholarship recipient.

3) Scholarship payments

Scholarship payments are generally made twice annually on predetermined dates in September (after the certification ceremony) and December. Payments will be deposited directly into the recipient's designated bank account.

* In the 2020 academic year, the first of the two payments will be made around the middle of September.

Scholarship Type

1. The Otsuka Toshimi Scholarship is awarded with no obligation of repayment.
2. The Otsuka Toshimi Scholarship is free of any conditions related to post-graduation activities, including employment.

Obligations of Recipients

Scholarship recipients are expected to fulfill the following obligations:

- (1) Comply with all rules stated in the Scholarship Guide and inform the Foundation promptly if they cease to satisfy any of the conditions for granting the scholarship.
- (2) Promptly notify the Representative Director of the Foundation if any of the following occurs:
 - i. Leave of absence, reinstatement, transfer or withdrawal from school
 - ii. Suspension or other disciplinary action
 - iii. Change in name, address or other important personal information
 - iv. Likelihood of repeating a year of study or not being able to graduate within the standard period for completion
- (3) Submit the following documents to the Representative Director of the Foundation:
 - i. Student registration certificate and a report on living condition
 - ii. Academic transcript
- (4) Participate in events held by the Foundation.
- (5) Even after graduating, participate actively as an alumni and keep the Foundation updated of your current status.

Application FAQ

Eligibility for Recommendation

Q Are there any restrictions on nationality?

A No, there are no restrictions on nationality. (However, those with Japanese nationality are not eligible.)

Q Is there an age limit?

A You must be 38 years old or younger as of April 1, 2020.

Q Can I be recommended even if my status of residence in Japan is not College Student?

A Only those with College Student status may be recommended.

Q Can research students also be recommended?

A No, research students cannot be recommended. You must be currently enrolled as a regular student to be eligible.

Q Can I be recommended if I have previously applied or been selected for the scholarship through direct application?

A No, those who have applied by direct application in the past cannot be recommended, regardless of whether or not they were successful. Please apply through the direct application process: the application period begins in April.

Q Can I be recommended if I am not majoring in business administration?

A Eligibility extends to a broad range of fields related to business administration, including economics. If you are from a developing country where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable.

Q Can I be recommended if I am enrolled in an engineering-related graduate school?

A You can be recommended if your studies are in an area "directly related to medicine/pharmacology." Eligible areas include, for example: human medical engineering such as development of testing/analysis devices, biomaterials engineering, development of optical devices, radiation (therapy/diagnosis), and robotics; biopharmaceuticals, genomic data analysis, and other areas of bioinformatics; computational sciences, drug discovery. In your Scholarship Application Form, please be sure to state clearly how your studies are related and applicable to medicine/pharmacology. You will be ineligible if the relationship is unclear.

Q

Am I eligible to be recommended even if I already have a scholarship from another organization?

A

No, you cannot be recommended if you have already been awarded another scholarship valid during the period covered by this scholarship.

Q

Can I be recommended if I have secured admission for April, 2020 but am yet to arrive in Japan?

A

No, you cannot. You need to submit a student registration certificate and certificate of residence together with your application, so you must be in Japan at the time of recommendation.

Q

Can I be recommended if I have secured admission for April, 2020?

A

You can be recommended, but as a rule, this is only possible if you are proceeding from an undergraduate to a master's program (business administration only) or master's to doctoral program, or transferring from research student to regular student status within the same university in April, 2020. However, this is only permitted in cases where you have been engaged in discussions with your prospective supervisor and he/she is able to write a letter of recommendation that includes comments on both your personality and your research plans. Please be sure to attach a copy of a document proving your admission when submitting your application.

Q

I will graduate from my current program in the fall of 2020. Can I be recommended?

A

No, you cannot. Eligibility is limited to applicants who will be enrolled throughout the payment period (April 2020 - March 2021).

Q

I am taking advantage of an extended enrollment system or remaining in my program past the standard period for completion. Can I still be recommended?

A

Students taking advantage of an extended enrollment system, students who remain in a program past the standard period for completion (including doctoral program students past the standard period for completion), and students unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible. Scholarship recipients will have their scholarship cancelled if their graduation is delayed after they were selected as recipients.

Q

I plan to participate in an academic exchange program. Can I still be recommended?

A

Those who plan to leave Japan for a total of forty days or more for exchange program, homecoming visit, traveling, or other reasons (i.e. not being based in Japan) during the period covered by the scholarship are ineligible.

Application FAQ

Application Materials

Q

How can I obtain a Scholarship Application Form?

A

Please copy the Scholarship Application Form sent by mail or print out a copy of the file sent to your university staff by email. The form is not available for download from the Foundation's website.

Please note that application forms are different for new and renewing applicants, as well as for the medical fields and the business fields applicants (engineering applicants should use the application form for medical fields). Your application will be ineligible if you do not use the correct form.

Q

Does my application need to be handwritten?

A

The application must be handwritten by the applicant. Your application will be disqualified if all or any part of the application is typed or handwritten by someone other than yourself, or written with erasable pens.

Q

As of when should I provide information on the institution currently attended (在籍機関)?

A

The information you provide for institution currently attended, year level, and other aspects of your studies and life should be correct as of the time of application. However, if you have secured admission to a degree program beginning in April, 2020, please provide the institution attended, year level, and other information as of April, 2020.

Q

How should I submit copies of my Scholarship Application Form, academic transcript and research papers?

A

Please enclose six sets of copies, each comprising a copy of the Scholarship Application Form and the academic transcript, single-sided, on A4 size paper (use color copying for the page with your photograph attached). If you have completed your Scholarship Application Form in English, please also attach six sets of copies of a Japanese translation thereof. Copies of the checklist, student registration certificate, certificate of residence, and letters of recommendation are not required. Please leave your copies unstapled.

If you have any research papers that have been published, please enclose six collated copies of them (double-sided, stapled).

Q

How should I fill out Section ④ (学歴・職歴) of the application?

A

Provide your academic data from the last school attended in your home country to the school you are currently attending, in chronological order beginning with the oldest data at the top and leaving no gaps in the chronology (include any Japanese language schools attended and any universities attended as a research student). Also provide details on any work experience you have.

Example)

2009	9	~	2013	7	Department of XXX, Faculty of △△, ○○ University (△△ City, ○○ Province, China)
2013	9	~	2014	8	Worked in a research position, ○○ Co., Ltd. (△△ City, ○○ Province, China)
2014	9	~	2016	8	☆☆☆Japanese Language School (Tokyo)
2016	10	~	2017	3	Research student, Graduate School of △△, ○○ University
2017	4	~	2019	3	Master's program, Graduate School of △△, ○○ University
2019	4	~			Doctoral program, Graduate School of △△, ○○ University

Q

I just matriculated and haven't yet compiled an academic record at the graduate school I now attend. Is an undergraduate transcript acceptable?

A

Yes, you may submit a transcript of the undergraduate institution from which you graduated.

Q

Does the transcript have to be an original? Do you accept copies?

A

You may submit a copy.

Q

Are transcripts written in the language of my home country accepted?

A

Yes. If it is difficult to obtain a transcript written in Japanese or English, you may submit a transcript written in the language of your home country. Please note that, as specified in the program guide, submit the most recent transcript with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.

Q

Is the deadline (Monday, December 2) the postmarked date or the date by which my application has to arrive at the Foundation?

A

Your application must arrive at our office by 3:00 p.m. on Monday, December 2. Only applications sent by mail are accepted. Please note that the deadline for online submission of application documents through the Application Support System on our website is on Friday, November 29, 5:00 p.m.. Be sure to send a hard copy of your application documents by mail after submitting them on online.

Q

Do you accept application forms completed in English?

A

Application forms completed in English will be accepted but must be accompanied by a Japanese translation of all English entries, including proper nouns. In such cases, the forms completed in English must be handwritten by the applicant. If you are able to fill out sections of the form in Japanese, we encourage you to do so. The Japanese translation need not be handwritten. No specific format or structure is required for the Japanese translation. However, for the sections on "Future Aspirations (future aspirations and progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (research progress over the past one year and research plans for the next year)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と来年の研究計画}) and "Progress and Achievements over the past One Year" (過去1年の成果及び活動), please be sure to clearly indicate the character counts of the Japanese translations and keep them within the character limits. Please note that your application will be disqualified if there are any unnatural and unintelligible expressions, errors, large omissions, or other inaccuracies in the Japanese translation.

Application FAQ

Q The sections for "Future Aspirations (future aspirations and progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (research progress over the past one year and research plans for the next year)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と来年の研究計画}) and "Progress and Achievements over the past One Year" (過去1年の成果及び活動) have grid lines for Japanese characters. How should I proceed if I'm completing these sections in English?

A Simply ignore the grid lines. No limitation is placed on the number of alphanumeric characters when you complete them in English. In the Japanese translations, however, please make sure to stay within the predetermined limit on the number of characters and clearly indicate the character counts (in any format you like).

Q What should I do if I have no particular "Progress over the past One Year" (過去1年の成果) to report?

A Please report any achievements or advancements over the past one year, including not only presentations at academic conferences and papers submitted for publication, but also other achievements in your studies, activities contributing to the community, and so forth. If you had few achievements and advancements last year, you should not apply.

Q Under "Have you applied for other scholarships/research grants?" (他奨学金・研究助成金の併願状況), how should I enter one-off payments?

A When entering your information online, select "Annual amount" and enter the total yearly amount. On the Scholarship Application Form, in a blank space enter words such as "once-off" to explain the type of payment. If explanations are needed for other items on the form, enter them in blank spaces and mark them for attention using sticky notes.

Japanese Proficiency

Q Am I eligible regardless of my Japanese proficiency?

A Yes. However, your Japanese proficiency (assessed in light of the length of your stay to date in Japan) may affect your evaluation as a candidate. A lack of enthusiasm for Japanese, such as failure to speak any Japanese at all during the interview, will be detrimental to your evaluation.

Q Is it possible to be interviewed in English?

A While interviews are normally conducted in Japanese, they may be conducted in English if you arrived in Japan recently. Please note that you will be interviewed in Japanese if your application has been prepared in Japanese. Accordingly, be sure to prepare your application in English if you cannot speak Japanese. Even if you are interviewed in English, efforts to speak in Japanese, such as giving a simple self-introduction, will be evaluated positively.

Other Questions

Q Who should enter my basic information and submit my application online through the Application Support System?

A As a rule, applicants should do this themselves. Information in the Application Support System is provided in both Japanese and English. You may ask the staff in charge at your university for assistance.

Q I do not know my reference number. What should I do?

A Your reference number will be issued upon completion of the online submission process.

Q Is my application complete once I have submitted online?

A No, your application is not yet complete. Write the reference number issued upon online submission in the required five spaces (refer to the "Application Process" section) on your application documents, and submit all the documents together to the staff in charge at your university. (The staff should collate all application documents and send them to the Foundation Office by mail.)

Q I'm a renewing applicant. Should I complete the Scholarship Application Form and submit all required documents as a new applicant does?

A Yes. All applicants should complete the Scholarship Application Form and mail it to the Foundation, along with the application materials specified in the program guide.

Q Will it affect the selection process if I earn income from a part-time job or the like?

A The selection process is not affected by income earned as a TA, RA, in part-time work, or received as a research grant. However, if your Application Form fails to show how you are meeting your tuition and living expenses, such as where details of your income and expenses are not provided or your stated income does not match your expenses, or lacks reasonable explanation for such failure, your application will be disqualified. Therefore, please accurately describe your current situation.

Q When and where will the interviews be conducted?

A Interviews will be conducted in Osaka or Tokyo by the end of February 2020 (tentative). You will be asked to travel to the venue at the time indicated.

Q When will I be contacted about an interview?

A The staff in charge at your university will be notified by email by the end of January.

If you have any questions not covered in this FAQ, please contact the Foundation Office.

Establishment

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established on March 6, 2007.

The Foundation was formally registered as a “public interest incorporated foundation” on April 1, 2012.

Background to the Foundation’s Establishment

Japan's aging population and low birthrates have become prominent trends in recent years that are expected to accelerate. The country faces a strong need to develop as many talented young people as possible. Meanwhile, developing countries in Asia, the Middle East, Africa, and other parts of the world—which have strong economic, educational, and cultural ties with our country—have growing numbers of young people but limited opportunities for them to study and pursue research at universities and other institutes of higher education in Japan and other developed countries. Additionally, young people from such countries often struggle financially while studying abroad due to inadequate resources.

Given these conditions and the need for ongoing, mutually beneficial development, it was recognized that the provision of financial assistance to Asian, Middle Eastern, African, and other international students specializing in medicine, pharmacology, nutrition, physical education, and business administration at Japanese universities and graduate schools would be highly meaningful and worthwhile. Accordingly, the Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007.

Profile of Toshimi Otsuka, the Founding Donor

The Foundation began with a private donation from Toshimi Otsuka, a member of the family that founded the Otsuka Group. Toshimi Otsuka was born on December 24, 1922, in Naruto, Tokushima Prefecture. Raised by hard-working parents, she enjoyed a happy childhood.

In 1950, Toshimi Otsuka joined Otsuka Pharmaceutical Factory, a firm established by Busaburo Otsuka, her father. There she assumed various responsibilities ranging from clerical work to employee dormitory management. She lived simply and frugally, practicing economy wherever possible. In her later years, she expressed a wish to help society in some way and offered to donate her lifetime savings for the purpose.

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007 to provide financial assistance to students from countries that have long supported the growth of the Otsuka Group and thereby contribute to the development of future leaders in those countries.

While serving as a director of the Foundation, Toshimi Otsuka attended the award ceremonies for scholarship recipients each year, drawing on her own life experiences over the years to talk about the joys of learning and the importance of overcoming obstacles. A gracious and modest

woman of personal integrity, she died on May 3, 2011, having led an unblemished life for 88 years.

The memory of Toshimi Otsuka lives on in the Foundation's activities.

Objectives

The Foundation's objective is to foster the talents of individuals with the potential to promote goodwill and understanding between Japan and countries around the world, by offering scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan, thereby ultimately promoting friendship between Japan and other countries and contributing to mutual development in academics, culture, and education.

Activities

1. Awarding scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan
2. Guiding and advising scholarship recipients on living and studying in Japan
3. Other activities needed to achieve the Foundation's objectives

(新規)

2020年度 公益財団法人太塚敏美育英奨学財団 奨学生応募書類チェックリスト<医薬系>

No.20 - S

(大学推薦: _____ 大学)

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

カタカナ	
氏名	
生年月日	19 年 月 日生

チェック欄		提出書類
1		<医薬系>奨学生願書（当財団指定用紙を使用すること） ※黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(消せるペンを使用不可)
2		推薦状（推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。複数名推薦する場合は「推薦順位とその理由書」も同封のこと。英語の推薦状には日本語訳を添付すること） ^{注1}
3		写真1枚 (カラー、上半身正面で、応募前6ヵ月以内のもの、4.5×3.5cmを願書に貼付のこと)
4		成績証明書（原本またはコピー） (履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと ^{注2} 。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること)
5		在学証明書（日本語で書かれた募集開始日以降のもの、コピー不可）
6		住民票の写し（募集開始日以降のもの） ^{注3} (コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されているもの不可。外国人登録原票記載事項証明書の原本及びコピー不可。また、外国人登録証明書のコピーも不可。 <u>マイナンバーが記載されたもの不可</u>)
7		願書及び成績証明書のコピー 6セット (写真貼付の願書1枚目のみカラーコピー、ホチキス留めはしない)
8		【該当者のみ】論文のコピー 6セット (出版済の論文がある人のみ。両面印刷でホチキス留めすること)
9		【該当者のみ】他の奨学金及び研究助成金の支給団体名、期間、使途、金額等を証する写し (2020年4月～2021年3月にかかる期間で他の奨学金及び研究助成金を受給中、又は受給が決定している場合のみ)
10		大学担当部署のチェックは受けましたか？

注1・ 推薦者は、在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方のみ。

注2・ 在籍校の成績証明書が合格・不合格のみの場合、または卒業まで評価が出ない場合は、卒業した大学の直近の成績証明書を添付すること。(母国の成績証明書可)

注3・ 外国人登録原票記載事項証明書、在留カードのコピーは不可。

2012年7月9日より「適法に3か月を超えて在留する外国人であって住所を有する者」について住民票が作成されているため、住民票以外のものは添付資料として認めません。

No. 20 - S

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

奨 学 生 願 書
＜医薬系＞

写真貼付のこと
(4.5×3.5cm)
カラー・上半身近影
6ヵ月以内のもの

公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団

代表理事 大 塚 一 郎 殿 年 月 日

貴財団の奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

①	フリガナ		性別		年 齢	満 歳
	氏 名		男	②	生年月日	19 年 月 日
	アルファベット 表記				国 籍	
	母国語 表記		女			
氏名（アルファベット大文字） Family name/Surname (姓) , First name (名) Middle name						
分 野（該当するものに○を記入）			医学・歯学・薬学・工学			
③ 在籍機関	大学院名／機関名		学部・研究科		学科・専攻	
	学 年（該当する課程に○を記入）		学 籍 番 号		指 導 教 員 名	
	博士前期（修士に該当） 博士後期（博士に該当） (4年制) 博士課程 年					
	日本への入国年月		入 学 年 月		卒 業 ・ 修 了 予 定 年 月	
	年 月		年 月		年 月	
④ 学歴及び 職歴 (兵役も 含む)	年	月	～	年	月	学 歴 (母国の最終学歴から記入) ・ 職 歴
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
⑤ 外国人留 学生担 当部 署及 び 担 当 者 名	外国人留学生担当部署			担 当 者 名		
	課・センター					
	担当部署(担当者)の連絡先電話番号			担当者メールアドレス		
	— —					

⑥ 本人現住所	〒 —				
	(自宅・学寮・アパート・その他 [])				
	携帯電話番号			電話番号(固定電話)	
	— —			TEL. — —	
	E-mail(PC) ※読みやすく書いてください				
⑦ 母国の住所	〒 —				
	TEL. — —				
⑧ 家族構成 (父母・配偶者・子・兄弟姉妹)	氏 名	続柄	年齢	勤務先/ 学校名	現住所
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入				
	奨学金受給の有無			有 ・ 無	
	支給団体名: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)				
	給与(アルバイト等も含む)		円/月 (職種:)		

⑩	生活費	家賃		生活費(食費・光熱費等) ※授業料・家賃は除く	
		円/月		円/月	
⑪	収入等	月收入(アルバイト、TA、RA等)			
		有 ・ 無	円/月	(職種:)	(労働時間: 時間/週)
		仕送り			
		有 ・ 無	円/月	(仕送り人続柄:)	
		現在受給中の奨学金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと			
		有 ・ 無	名称: 月額・年額	円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)	
		その他収入(児童手当等も含む)			
		円/月 (内容:)			
⑫	授業料減免	授業料		円/年	
		授業料の免除		確定 ・ 申請中 ・ 不合格 ・ 申請していない 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし	
		免除額	円	自己負担額	円
⑬	学業面	週に何日授業がありますか？			日
		主に授業がある/研究をするのはいつですか？			昼間 ・ 夜間 ・ 半々
		週に何日通学しますか？(授業・研究を含める)			日
		土日祝は学校/研究室へ行きますか？			毎週 ・ 時々 ・ 休み
		平均して何時～何時まで大学(研究室)にいますか？			時 ~ 時
		現在受給中の研究助成金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと			
		有 ・ 無	名称: 円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
		過去の研究助成金受給実績 名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間			
⑭	現在の奨学金 ・研究助成金 併願状況	申請先 / 申請中・確定 / 月額・年額 (○で囲む)			
		名称: (月額・年額	円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)	(申請中・確定 / 結果発表: 月 日)	
		名称: (月額・年額	円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)	(申請中・確定 / 結果発表: 月 日)	
⑮	過去の奨学金 受給実績	名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間			
		名称: (月額・年額	円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
		名称: (月額・年額	円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は可否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

推 薦 状

被推薦者名 _____

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

(推薦者)

年 月 日

大学院名
(機関名)

講座

分野

役職

氏名
(ご署名)

印

電話番号

Email

※講座、分野がない場合は空欄にしてください。

※氏名(ご署名)欄は推薦者が自筆でご記入ください。代筆の場合は選考対象外とします。

※同じ研究室(指導教員)から複数ご推薦される場合は、「推薦順位とその理由書」も同封してください。

※推薦状は密封し、被推薦者または奨学金担当者にお渡しください。

推 薦 理 由

(推薦者との関係とその期間、人物・将来性についての所見、学業面等)

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷(コピー可)の1部を当財団事務局まで送付していただきますようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。

推薦順位とその理由書

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
代表理事 大塚 一郎 殿

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団の奨学金について、下記の通り推薦いたします。

大学(院)名
(機関名)

役職

推薦者署名

印

2人以上推薦される場合は優先順に理由をご記入ください。

1位	フリガナ:
	氏名:
	理由:
2位	フリガナ:
	氏名:
	理由:
3位	フリガナ:
	氏名:
	理由:

※ご記入いただいた「推薦順位とその理由書」は、応募者それぞれの推薦状に同封してください。

⑬ 将来の抱負

- 将来、社会でどのような役割を担いたいか書いてください。

句読点を含めて400字以内で総論的にまとめること。(字数制限を超えたものは審査の対象としません。)

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of thin, light gray horizontal and vertical lines that intersect to form a uniform pattern of small squares across the entire surface. There are no margins, text, or other markings on the paper.

200

400字

- 日本と母国の架け橋としてどのようにリーダーシップを発揮したいかを書いてください。

⑰ 留学の 目的	
⑱ 将来の抱負 に対する 現在の進捗 度	
⑲ 2020 年の目標	

②② 研 究 内 容

「研究内容」「研究室の中で具体的に自分が何をしているか」「来年1年間で研究テーマに対してどう貢献していくか」を書いてください。

1ページ目

研究タイトル

句読点を含めて800字以内で具体的にまとめること。(字数制限を超えたものは審査の対象としません。)

A full-page sheet of white graph paper featuring a uniform grid of thin, light gray horizontal and vertical lines. The grid consists of 20 columns and 20 rows, creating a total of 400 small squares. The lines are evenly spaced and extend across the entire page, leaving no margins or additional markings.

400

460字(次ページへ続く)

②② 研 究 内 容

2ページ目

This is a full-page image of a blank sheet of graph paper. It features a uniform grid of small squares, typical of standard graph paper used for mathematics or design. The grid covers the entire area of the page, with no margins or additional markings visible.

600

800字

● 2020年の学会発表、論文投稿の状況

例) 国内発表 口頭・ポスター / 応募中 採択 5、10月

・国内発表 口頭・ポスター / 応募中・採択 _____月

口頭・ポスター / 応募中・採択 _____月

・海外発表 口頭・ポスター / 応募中・採択 _____月

口頭・ポスター / 応募中・採択 _____月

・論文 投稿中 和文誌 _____本_____月 / 英文誌 _____本 _____月

誌名：

※ 雑誌・論文は正式名称を記入すること

②① 過去1年の成果及び活動

過去1年間でどのような成果をあげたか書いてください。

(学会発表・論文投稿・社会貢献活動等を含む1年間の成果及び進展)

句読点を含めて400字以内で具体的にまとめること。(字数制限を超えたものは審査の対象としません。)

※箇条書き不可。成果及び進展が乏しい人は応募できません。

A full-page sheet of white graph paper with a light gray grid. The grid consists of small squares, approximately 10 units wide by 10 units high. There are no margins or additional markings on the page.

200

400字

② 学会発表、論文投稿等の実績

2019年12月までの実績をすべて記入してください。誌名等の詳細は下の詳細欄に箇条書きで書いてください。

※学術誌論文の場合は「著者名」「論文標題」「雑誌名」「巻」「最初と最後の頁」「発行年(西暦)」「査読の有無」「IF」「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)」を書いてください。著者名が多数の場合は上位3名のみ記入し、著者の総数と申請者の順番を記載すること。

例) 国内発表 口頭 3回 / ポスター 5回

1. 国内発表 口頭 _____ 回 / ポスター _____ 回

2. 海外発表 口頭 回 / ポスター 回

3. 論文 掲載済 和文誌 本 / 英文誌 本

4. 論文掲載決定 和文誌 本 / 英文誌 本

(論文、学会等の詳細)

[illegible]

③ 資格・特記事項等	日本語能力検定 級(年 月取得)									
	TOEICスコア 点(年 月取得)、TOEFLスコア 点(年 月取得)									
④ 振込先	フリガナ									
	口座名義人									
	銀行・ゆうちょ銀行等の預貯金口座									
					銀行・信用金庫・信用組合				本店・支店・出張所	
	口座番号									

私は、奨学生願書に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。
また、本申請に関する個人情報を財団が事業の目的の範囲内で第三者に提供することに同意いたします。

署名： _____ 印

印鑑をお持ちの場合は押印してください。

※出願書類に不備・不明な点がある場合、記載内容に虚偽があった場合には、選考から除外します。
※採用後、記載内容に虚偽が発見された場合には、採用を取り消します。

☆ 記入上の注意 ☆

- ・推薦状以外、応募者本人が日本語もしくは英語の手書きで記入すること。
英語の場合、日本語訳を添付すること(様式は問わない)。
- ・応募者が使用可能な言語で願書を記入すること(日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります)。
- ・黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(消せるペンの使用不可)。
- ・固有名詞はすべて正式名称とし、省略は一切しないこと。

なお、記入いただいた情報は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。

2020年度 大塚敏美育英奨学財団奨学生募集 (大学推薦)

SCHOLARSHIP APPLICATION for fiscal 2020

人の健康に深く関連する分野(医学、薬学、工学等)及び経営学
medicine, pharmacology, engineering or business administration

■給付額 Amount of scholarship

年額**200**万円、**150**万円、**100**万円
annual sum of ¥2 million, ¥1.5 million, ¥1 million

■財団の締切 Deadline

Web提出 Online submissions

11月29日(金)17時
November 29, 2019, 5:00 p.m.

郵送 Submissions by mail

12月2日(月)15時必着
December 2, 2019, 3:00 p.m.



Otsuka Toshimi Scholarship Foundation
公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団

※財団の概要はWEBで www.otsukafoundation.org

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

Tips on Applying for Scholarships

Education and Student Support Department

Student Exchange Division

International Education Section

2019.02.01

1. Before applying

- Read the application guidelines carefully to determine whether or not you meet the requirements. Be sure to take note of any obligations for scholarship recipients in addition to the application requirements and details of the award. (E.g. mandatory attendance at conferral ceremonies and exchange events, submission of periodic assignments to the scholarship organization, etc.)
- Make sure you have all the required documents on hand. In particular, many students forget to submit academic transcripts from their previous curricula.
- If you have applied to other scholarship organizations via either university recommendation or direct application, you cannot apply for any further scholarships, even if you do not yet know the results of your other applications. (Except in cases where both scholarships permit receipt of multiple scholarships at the same time.)
- Screening methods vary depending on the organization. If there is an interview, note the travel expenses, location, date/time etc., and be sure you will be able to attend.

2. Application documents

- Do not reuse documents from previous applications, even if you are applying to extend a current scholarship. Always prepare new documents.
- Do not use erasable pen (e.g. Frixion); always fill out application forms with a black ballpoint pen. (Application documents written in erasable pen cannot be submitted to the scholarship organization.)
- During the screening process, your application documents will greatly influence the impression you give. Fill out all forms neatly so that they are easy for the evaluators to read.
- If you make a mistake, do not use corrective tape/fluid or cross out the mistakes. Prepare a new form instead.
- Do not abbreviate your undergraduate/graduate school's name; enter the full name.
- Be sure to read and follow all notes and instructions on filling out the forms.
- As a matter of courtesy, fill in at least 70-80% of the space provided for each short-answer/essay question.
- After you have finished, double check your application to make sure that no items are blank. In particular, enter answers even for items not applicable to you, e.g. "None" (or "0" for amounts) etc.
- *If outputting data from Excel, check to make sure all characters fit within the provided spaces.

3. Other

- If you have any questions about the application requirements or how to fill out the forms, please inquire with the person who handles scholarships for your department. Do not try to individually contact the scholarship organization.
- Note that recipients of the President Fellowship or other scholarships that pay tuition may not be able to apply for a tuition exemption for the duration of that scholarship. Be sure to check with the person who handles scholarships for your department.
- If you plan to apply for a scholarship directly (without going through the university), or to extend a scholarship, you must contact the person who handles scholarships for your department and inform them beforehand.

*** 2019年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。**

2019年10月現在

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL
氏 名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍	
東 北 大 学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ～ 現在		
		年 月 ～ 年 月		
		年 月 ～ 年 月		
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート (住所)			

[illegible]

*No need to submit if you have already submitted anytime in **October 2019 or thereafter** .
 * **2019年10月以降**に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年 、DC 年 、大学院研究生		
氏 名			

家計状況

* **2018年10月から2019年9月までの**あなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り ・ 無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった